クライアントマネージャのインストール

無線 LAN パソコン同士やエアステーションを使用して有線 LAN 上のパソコンと通信するには、クライアントマネージャが必要です。この章では、クライアントマネージャのインストール手順を説明します。

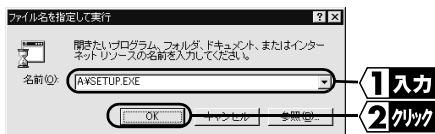
メモ　エアステーションを使用して通信する場合は、エアステーションに付属のマニュアルを参照してクライアントマネージャをインストールしてください。

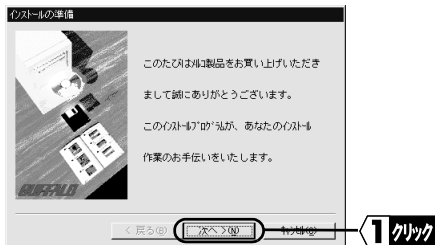
インストール手順

次の手順に従って、無線 LAN パソコンを使用する全てのパソコンに、クライアントマネージャをインストールしてください。

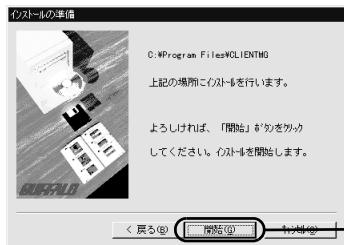
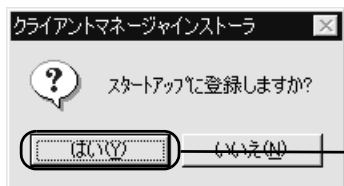
1「WLI-PCM-L11 Driver Disk」をフロッピードライブに挿入します。

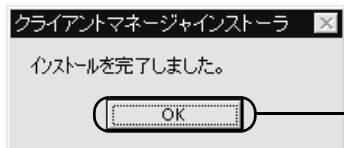
2 [スタート]-[ファイル名を指定して実行]を選択します。

3「A:\SETUP.EXE」(フロッピードライブがAドライブの場合)と入力し、[OK]をクリックします。

4 他に起動しているアプリケーションがある場合は、終了させてから、[OK]をクリックします。

次頁へ続く

5 [次へ] をクリックします。

6 インストール先を確認してきますので、変更しない場合は、[次へ] をクリックします。変更する場合は、インストール先とそのドライブ名を入力してから、[次へ] をクリックしてください。

7 インストール先を再度確認してから、[開始] をクリックします。インストールに必要なファイルのコピーが始まります。

8 [はい] をクリックします。クライアントマネージャがスタートアップメニューに登録されます。

メモ スタートアップメニューに、クライアントマネージャを登録しない場合は、[いいえ] をクリックしてください。

9 [OK] をクリックします。インストールが完了します。

次へ 「ネットワークへの接続」(P50) へ進みます。

メモ クライアントマネージャをアンインストールするときは、[スタート]―[MELCO AIRCONNECT]―[クライアントマネージャアンインストール] を選択して、画面の指示に従ってください。

5 ネットワークへの接続

パソコンの設定が完了したら、ネットワークへの接続を行ないます。

ネットワークへの接続

ネットワークへの接続は、以下の 3 通りがあります。

- **エアステーションを使用して通信する**
  エアステーションに付属のマニュアルを参照してください。
- **無線 LAN パソコン同士で通信する**
  「無線 LAN パソコン同士で通信する」 下記を参照してください。
- **他社製アクセスポイントを使用して通信する**
  「Wi-Fi対応の他社製無線LAN製品と通信する」(P51)を参照してください。

無線 LAN パソコン同士で通信する

無線 LAN パソコン同士のみで通信をおこなう場合は、クライアントマネージャから無線チャンネルを手動で設定します。

メモ

- 11M 無線 LAN パソコン同士のみで通信する場合は、エアステーション (別売) は、必要ありません。
- Windows2000/NT4.0 をお使いの場合は、アドミニストレーター権限をもったログイン名 (Administrator 等) でログインしてください。

1 **[スタート] ー [プログラム] ー [MELCO AIRCONNECT] ー [クライアントマネージャ] を選択します。**
画面右下のタスクトレイの中に次のアイコンが表示されているときは、このアイコンをダブルクリックします。

2 ［ファイル］－［手動設定］を選択します。

3 「無線チャンネル」欄を通信を行いたい他のパソコンと同じに設定し、「通信モード」欄を「無線LANパソコン間通信」に設定し、［OK］をクリックします。

次へ 「無線 LAN パソコンとの通信」（P54）へ進みます。

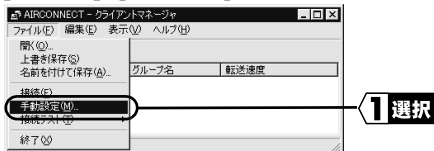
Wi-Fi 対応の他社製無線 LAN 製品と通信する

Wi-Fi 対応の他社製アクセスポイント／ LAN カードと通信する場合は、クライアントマネージャから ESS-ID の設定をおこないます。

メモ　Windows2000/NT4.0をお使いの場合は、アドミニストレータ権限を持ったログイン名（Administrator 等）でログインしてください。

1 ［スタート］－［プログラム］－［MELCO AIRCONNECT］－［クライアントマネージャ］を選択します。
画面右下のタスクトレイの中に次のアイコンが表示されているときは、このアイコンをダブルクリックします。

次頁へ続く

2 ［ファイル］－［手動設定］を選択します。

3 以下の設定をおこなって、［OK］をクリックします。

他社製アクセスポイント経由で通信する場合（インフラストラクチャモード）

ESS-ID ： **他社製アクセスポイントのESS-IDを入力します。**

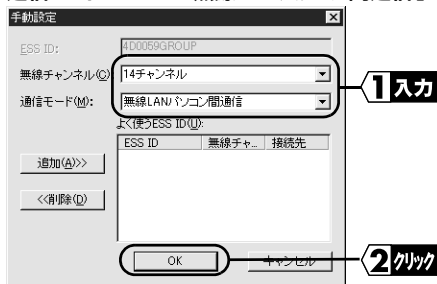
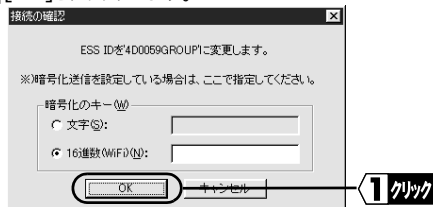
メモ ESS-IDの確認手順は、他社製アクセスポイントに添付のマニュアルを参照してください。

通信モード ： **「エアステーション経由通信（11Mbps）」を選択します。**

他社製無線カードと直接通信する場合（アドホックモード）

無線チャンネル：　通信する他社製 LAN カードと同じ無線チャンネルを設定します。

メモ　無線チャンネルの確認手順は、他社製無線 LAN カードに添付のマニュアルを参照してください。

通信モード　　：「無線 LAN パソコン間通信」を選択します。

4 [OK]をクリックします。

メモ　WEPによる暗号化の設定をおこなっているときは、「16 進数（Wi-Fi）」を選択して、「暗号化キー」にパスワードを入力してください。

以上で他社製アクセスポイントとの接続は完了です。他社製アクセスポイントと通信するためのパソコンの設定等は、他社製アクセスポイントのマニュアルを参照してください。

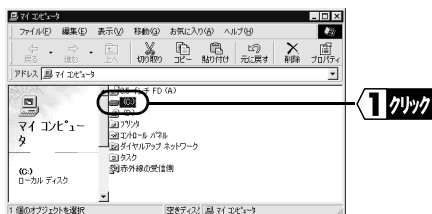
無線 LAN パソコンとの通信

無線 LAN チャンネルの設定が完了したら、他の無線 LAN パソコンと実際に通信してみましょう。
Windows98 の画面を用いて説明します。

パソコンの共有設定

ドライブやフォルダの共有を設定します。ここでは、[ﾏｲ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ] の中の C ドライブを共有するときの手順を例に説明します。

1 デスクトップ上の [ﾏｲ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ] アイコンをダブルクリックします。

2 C ドライブのアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、メニューから [共有] を選択します。

3 **[共有する]のオプションボタンをクリックし、「共有名」「コメント」「アクセス権の種類」「パスワード」を確認または変更し、[OK]をクリックします。**

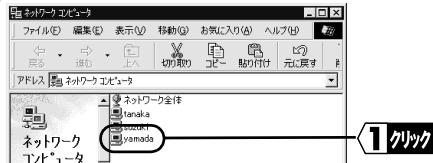
▶参照 「共有名」、「コメント」、「アクセス権の種類」、「パスワード」の詳細説明については、第7章 用語集の「■ Windows98/95の共有設定画面」(P71)を参照してください。

4 **Cドライブのアイコンが以下のようになります。**

↘次へ 「通信をおこなう」(P55)へ進みます。

通信をおこなう

1 **デスクトップ上の[ﾈｯﾄﾜｰｸ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ]アイコンをダブルクリックします。Peer to Peer接続されているパソコンが表示されます。**

2 **通信したいパソコンをダブルクリックします。**

▶参照 通信したいパソコンが表示されないときは、第6章 困ったときはの「他のコンピュータが表示されません」(P62)を参照してください。

次頁へ続く

3 「「Microsoftネットワーククライアント」の追加方法」(P41)で、設定されたドライブが表示されます。
通信したいドライブをダブルクリックします。

4 ドライブの中身が表示され、アクセスが可能になります。

▶参照 本製品を装着したパソコンから、無線LANまたは有線LAN上のパソコンへの接続が完了しました。無線LANと有線LANを使用した快適な環境でパソコンをお使いください。

6 困ったときは

無線 LAN カードを使用して発生する現象とその原因、対策方法について説明します。

無線 LAN カードがパソコンに認識されない

原因

無線 LAN カードがパソコンの PC カードスロットに確実に差し込まれていない。

対策

無線 LAN カードの向きを確認して、差し込み直してください。

原因

パソコンの PC カードスロットが故障している。

対策

- **パソコンの PC カードスロットを 2 つ装備しているパソコンをお使いのかたは、もう一方のスロットに差し込んでください。**
- **他にパソコンをお持ちの場合は、他のパソコンの PC カードスロットに差し込んで確認してください。**

本製品が正常に動作しない

原因

ご使用のパソコンのパワーマネージメント機能が動作している。

対策

パワーマネージメント機能の設定を OFF にしてください。
詳細については、パソコンのマニュアルを参照してください。

PC-9821 シリーズで、本製品が正常に動作しない（Windows98/95）

PC-9821シリーズで、「MELCO WLI-PCM-L11 Wireless LAN Adapter」に!マークがついていないのに正常に動作しない。または、無線 LAN カードをパソコンに取り付けて「クライアントマネージャ」を起動すると、エラーが表示される。

原因

I/O ポートアドレスが競合している。

対策

以下の手順で、I/O ポートアドレスを変更してください。

①[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]を選択します。

②コントロールパネル内の「システム」アイコンをダブルクリックします。

③「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

④「ネットワークアダプタ」の中の「MELCO WLI-PCM-L11 Wireless LAN Adapter」を選択し、[プロパティ]をクリックします。

⑤「リソース」タブをクリックします。

⑥「自動設定を使う」（Windows95 の場合は[自動設定]）のチェックボックスをクリックして、チェックマークを消します。

⑦「I/O の範囲」を選択して、[設定の変更]ボタンをクリックします。

⑧「値」欄の設定値を「0200」以上の競合デバイスのない値に設定して、[OK]をクリックします。

⑨「競合するデバイス」欄に「競合はありません」と表示されていることを確認し、[OK]をクリックします。

ドライバに！マークや×マークがついている

「MELCO WLI-PCM-L11 Wireless LAN Adapter」に！マークや×マークがついている。

原因

- ドライバのインストールに失敗している。
- リソースが競合している。

対策

「インストール画面が表示されない」(P59)を参照してください。

インストール画面が表示されない

Windows98/95環境で、無線LANカードを装着しても、ドライバのインストール画面が自動的に起動しない。
または、「MELCO WLI-PCM-L11 Wireless LAN Adapter」に！マークがついている。

原因

ドライバのインストールに失敗している。

対策

次の手順に従って、ドライバを削除し、再度ドライバのインストールを行なってください。

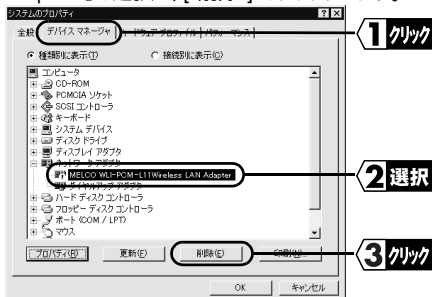
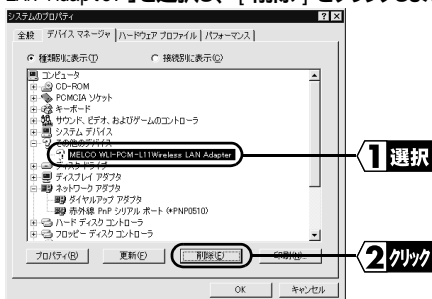
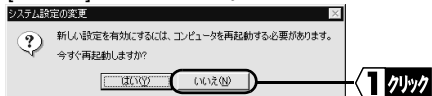
⚠注意　作業の前に無線LANカードがPCカードスロットに確実に挿入されているか、確認してください。

1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]を選択します。

2 [コントロールパネル]内の[システム]アイコンをダブルクリックします。

次頁へ続く

6
困ったときは

3 [デバイスマネージャ] タブをクリックします。
[ネットワークアダプタ] の中の「 MELCO WLI-PCM-L11 Wireless LAN Adapter 」を選択し、[削除] をクリックします。

▶ [? その他のデバイス] の中に「 MELCO WLI-PCM-L11 Wireless LAN Adapter 」が表示されている場合は、「 MELCO WLI-PCM-L11 Wireless LAN Adapter 」を選択し、[削除] をクリックします。

4 [いいえ] をクリックします。

5 コントロールパネル内の「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。

6 「MELCO WLI-PCM-L11 Wireless LAN Adapter」が表示されている場合は、削除してください。

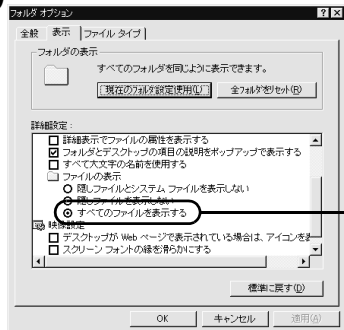
7 [OK] をクリックします。

メモ 「今すぐ再起動しますか？」と表示された場合は、「いいえ」をクリックしてください。

メモ Windows95をお使いのかたは、手順8～11を行う必要はありません。

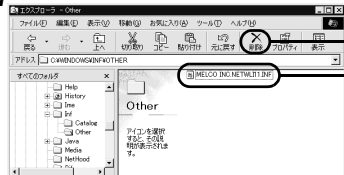
8 [スタート]-[プログラム]-[エクスプローラ]を選択します。

9 [表示]-[フォルダオプション]を選択して、「表示」タブをクリックします。

10 「すべてのファイルを表示する」を選択して、[OK] をクリックします。

11 Windows98がインストールされたドライブ内の「Windows」フォルダ－「INF」フォルダ－「OTHER」フォルダを開きます。

12 「MELCO INC.NETWLI11.INF」を選択し、[削除]をクリックします。

次頁へ続く

6 困ったときは

13 Windows98/95を終了させ、パソコンの電源をOFFにします。

14 無線LANカードを取り出します。

「PCカードドライバの確認」(P15)を参照して、PCカードドライバの確認を行い、「ドライバのインストール」(P22)を参照して、ドライバを再インストールしてください。

次へ 「PCカードドライバの確認」(P15)へ進みます。

他のコンピュータが表示されません

「ネットワークコンピュータ」アイコンをダブルクリックしても、他のコンピュータが表示されません。

原因①

Windows98/95を起動したときにパスワードを入力していない。
(ユーザー名/パスワードの入力画面で[キャンセル]ボタンをクリックしたり、〈ESC〉キーを押している。)

対策①

Windows98/95を起動したときに要求されるユーザー名/パスワードの入力画面では、必ず入力して[OK]ボタンをクリックしてください。万が一、パスワードを忘れてしまったときは、別のユーザー名を入力してください。ユーザー名とパスワードがコンピュータに登録されます。

原因②

ネットワークの設定が正常にできていない。

対策②

プロトコル、ワークグループ名や共有設定の確認を行ってください。
Windows98/95の場合:
「ネットワークに接続するための準備」(P37)を参照してください。

原因③
ネットワークを検索して、接続されているコンピュータが表示されるのに時間がかかっている。

対策③
以下の手順でコンピュータの検索をしてください。

①[スタート]-[検索]-[ほかのコンピュータ] を選択します。

②「名前」に、接続先のコンピュータ名を入力して、[検索開始] をクリックします。

③検索されたコンピュータのアイコンをダブルクリックして、接続してください。

原因④
本製品のドライバのインストールに失敗している。

対策④
ドライバが正常にインストールされているか確認してください。

Windows98/95 の場合：「インストール後の確認」(P34) を参照してください。

次頁へ続く

原因⑤

ドライバのインストールに失敗している。

対策⑤

「Windows98/95 環境で、本製品を装着しても、ドライバのインストール画面が自動的に起動しない」の対策を行って、もう一度ドライバのインストールをやり直してください。

無線 LAN パソコンと通信ができない

原因①

無線 LAN カードのドライバのインストールに失敗している。

対策①

ドライバが正常にインストールされているか確認してください。
また、無線 LAN カードのランプが点灯しているかどうか確認してください。
Windows98/95 の場合は、「インストール後の確認」(P34) を参照してください。

原因②

無線チャンネルの設定が接続相手の無線チャンネルの設定と異なる値が設定されている。

対策②

自分のパソコンと接続先のパソコンの無線チャンネルの設定を再度確認してください。

▶参照 「ネットワークへの接続」(P50) を参照してください。

原因③

電波状態が悪いため、電波が届かない。

対策③

無線 LAN パソコン間の距離を短くしたり、障害物をなくして見通しをよくしてから、再度接続してください。

無線 LAN カードドライバのプロパティ画面で、設定変更の方法が分かりません。

対策

無線 LAN カードドライバのプロパティ画面からの設定変更は動作保証外です。無線 LAN カードの設定を変更するときは、プロパティ画面から変更するのではなく、クライアントマネージャから変更してください。

MAC アドレスを確認したい

TCP/IP プロトコルがインストールされている場合は、以下の手順で MAC アドレスの確認ができます。

Windows98/95 の場合

1. [スタート] - [ファイル名を指定して実行] を選択します。
2. 「WINIPCFG.EXE」と入力し、[OK] をクリックします。
   『IP 設定』ダイアログボックスが表示されます。
3. 「 MELCO WLI-PCM-L11 」を選択します。MAC アドレスは、「アダプタアドレス」に表示されています。
4.

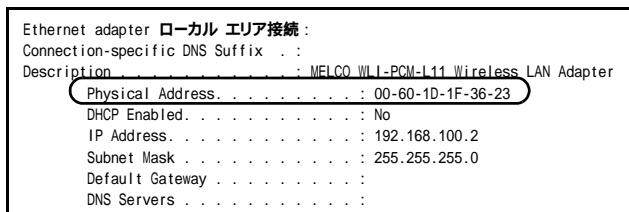
6 困ったときは

Windows2000 の場合

1 [スタート] − [プログラム] − [アクセサリ] − [コマンド プロンプト] を選択します。

2 画面に「C:\>」と表示されますので、「IPCONFIG」と入力して、<ENTER>キーを押します。

3 「Physical Address」欄に MAC アドレスが表示されます。

```
Ethernet adapter ローカル エリア接続 :
Connection-specific DNS Suffix  . :
Description . . . . . . . . . . . : MELCO WLI-PCM-L11 Wireless LAN Adapter
        Physical Address. . . . . . . . . : 00-60-1D-1F-36-23
        DHCP Enabled. . . . . . . . . . . : No
        IP Address. . . . . . . . . . . . : 192.168.100.2
        Subnet Mask . . . . . . . . . . . : 255.255.255.0
        Default Gateway . . . . . . . . . :
        DNS Servers . . . . . . . . . . . :
```

WindowsNT4.0 の場合

以下の手順で MAC アドレスの確認ができます。

1 [スタート] - [プログラム] - [管理ツール] - [WindowsNT 診断プログラム] を選択します。

2 「ネットワーク」タブをクリックして [トランスポート] をクリックします。
MAC アドレスは、「アドレス」に表示されています。

3

7 用語集

本書で使われている用語の内、ネットワークを構成する上で必要となる用語について説明します。

■無線チャンネル

ESS-ID の異なる無線 LAN ネットワークが 1 つのフロアにいくつかあるとき、他の無線LANネットワークで通信していると、通信速度が遅くなることがあります。これは、同じ周波数の電波を使用しているためです。この場合は、それぞれの無線 LAN ネットワーク毎に使用する電波の周波数（無線チャンネル）を設定することで、他の無線LANネットワークに関係なく通信することができます。

※無線 LAN で通信する場合は、必ず無線チャンネルを同一の設定にする必要があります。

■ DHCP サーバ

TCP/IP でネットワークを構築するときは、必ず各パソコン等の機器に IP アドレスを設定する必要があります。DHCP サーバがネットワーク上に存在すると、ネットワーク上のパソコンやエアステーションにIPアドレスを自動的に割り振ることができます。Windows2000/NT サーバやダイヤルアップルータなどの DHCP サーバ機能が内蔵された機器がネットワーク上に存在する場合、DHCP サーバ機能が動作している場合があります。WindowsNT サーバやダイヤルアップルータの DHCP サーバ機能が動作しているかどうかは、Windows2000/NT のマニュアルまたはダイヤルアップルータのマニュアルを参照するか、メーカにお問い合わせください。ネットワーク上に Windows98/95 のパソコンしかないときは、DHCP サーバは存在しません。

■ ESS-ID

無線 LAN パソコンとエアステーションの通信時に混線しないための ID です。エアステーションと同一の ESS-ID を設定した無線 LAN パソコンが、エアステーションと通信できます。（ESS-ID は、無線 LAN パソコン同士の通信をおこなうときは無効です。）

エアステーションの ESS-ID は、「MAC アドレスの下 6 桁」+「グループ名」が設定されます。ESS-ID は、大文字・小文字の区別があり、半角英数字およびアンダーバー ”_” が 32 文字まで入力できます。

■ I/O ポートアドレス (Input/Output)

CPU と周辺機器との間には、情報をやりとりする出入り口があります。
どの周辺装置がどの出入り口を使うかを区別するために、各装置に割り当てられる番号が I/O ポートアドレスです。

■ IRQ(割込み要求：Interruput Request)

パソコンの周辺機器が要求する処理は全て CPU が行いますが、CPU はどの機器からいつ要求が来るかを予想できません。CPU が常に全ての機器を監視していると、処理時間よりも監視時間のほうが長くなり、非効率的です。そこで、各周辺機器から、CPU に対して実行してほしいことが発生した場合に、IRQ の番号を使用して、現在 CPU が行っている処理に「割り込み」と「要求」をします。CPU は、どの装置から要求が来たかを IRQ 番号より判断し処理を行います。割込み要求の処理が終わると、CPU は通常の処理に戻ります。

■ LAN(Local Area Network)

「ラン」と発音する。１つの建物の中やキャンパスの敷地内など比較的狭い地域でのネットワークです。10Mbps ～ 100Mbps の伝送速度が一般的です。

■ MAC アドレス (Media Access Control Address)

ネットワークカードごとの固有の物理アドレスです。
MAC アドレスは、先頭からの 3bytes のベンダコードと残り 3bytes のユーザコードの 6bytes で構成されます。
ベンダコードは、IEEE が管理 / 割り当てを行っており、ユーザコードは、ネットワークカードの製造メーカが独自の番号（重複はしない）で管理を行っています。つまり、MAC アドレスは、世界中で単一の物理アドレスが割り当てられています。Ethernet ではこのアドレスを元にしてフレームの送受信を行っています。

■ Microsoft ネットワーククライアント

Windows98/95/2000/NT4.0 などのサーバサービスを利用するためのクライアントソフトウェアです。通常プロトコルには、「NetBEUI」が使用されます。

■ NetBEUI プロトコル

小規模から中規模の LAN 用のネットワークトランスポートプロトコルです。NetBEUI は、OSI プロトコルモデルのトランスポートおよびネットワーク層プロトコルに相当します。これを NetBIOS と統合することにより、ワークグループ LAN 環境で効率的な通信システムが実現されます。Windows98/95/NT4.0などで、サポートされています。

■ Peer to Peer 接続

パソコンが、LAN や WAN を介して互いに対等な関係で行う通信です。
サーバ・クライアントシステムとは異なり、ネットワーク上のいずれのパソコンも他のユーザにその資源を利用可能にすることができます。

■ TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol)

OSI 参照モデルのネットワーク層とトランスポート層に相当するプロトコルで、RFC によって定義されています。そのため、TCP/IP を実行していれば異なる端末間で互いに通信することができます。
●通常は、TELNET や FTP といったアプリケーションプロトコルも含まれます。
●インターネット標準のプロトコルです。

■ WECA

統一無線 LAN の普及促進に向け、IEEE802.11b High-Rate 規格を推進し、準拠した製品の相互運用性を保証するための団体です。IEEE802.11 規格の中心である Lucent Technologies、Intersil と Nokia、3com、Symbol Technologies、Aironet Wireless Communications の6社によって 1999 年に設立され、無線 LAN 普及促進のための活動を世界規模で展開しており、現在ではメルコも加入しています。
現在の、加入企業名や Wi-Fi 認定製品の最新情報は、下記の URL に掲載されています。
http://www.wi-fi.org/certified_products.asp

■ Wi-Fi

WECA による無線 LAN 規格「IEEE802.11b High-Rate」のマーケティング上のブランドネームです。WECA の相互運用性テストをクリアした製品にのみ与えられ、Wi-Fi 認定製品同士での相互運用性が WECA により保証されています。

■ Windows98/95 のユーザー名とパスワード

ドライバのインストールが完了し、パソコンを再起動すると、『ﾈｯﾄﾜｰｸﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの入力』ダイアログボックスが表示されます。

- ネットワークを使用するときは、ユーザー名とパスワードを入力してください。ただし、ネットワークを使用しないときは入力する必要はありません。
- ユーザー名とパスワードは、Windows98/95 をセットアップする過程で設定しています。初めてログインするときは、セットアップ時のユーザー名とパスワードを入力してください。（マルチユーザーで複数の環境を切り替えてパソコンを使用できるようになっています。よって、新たにユーザー名とパスワードを入力することにより、ログインできます。）

■ Windows98/95 の共有設定画面

共有したいドライブのアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、メニューから「共有」を選択すると、次の画面が表示されます。

画面内の説明は、次の通りです。

共有しない： ドライブの共有を解除するときに選択します。

共有する： ドライブを共有するときに選択します。

共有名： 共有するドライブの名称を変更できます。

ｱｸｾｽ権の種類： 共有するドライブに対しての読み書きを許可します。

読み取り専用： 共有するドライブを読み込み専用にします。

ﾌﾙｱｸｾｽ： 共有するドライブに読み書きを許可します。

ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞで区別： パスワードにより、読み書きを許可します。

ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ： 「ｱｸｾｽ権の種類」に対するパスワードです。

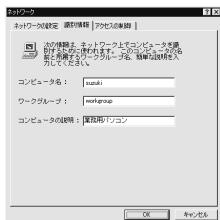
読み取り専用： 読み取りを許可するときのパスワードを設定します。

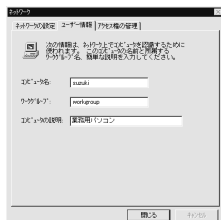
ﾌﾙｱｸｾｽ： 読み書きを許可するときのパスワードを設定します。

■ Windows98 の識別情報（Windows95 の場合はユーザー情報）画面

表示される画面

Windows98 の場合

「ネットワーク」アイコンをダブルクリックして、「識別情報」タブをクリックすると、次の画面が表示されます。

Windows95 の場合

「ﾈｯﾄﾜｰｸ」アイコンをダブルクリックして、「ﾕｰｻﾞｰ情報」タブをクリックすると、次の画面が表示されます。

画面内の説明

画面内の説明は、次の通りです。

ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ名：　ネットワーク上で、コンピュータを識別するための名称です。各パソコン毎に固有の名称を設定します。

ﾜｰｸｸﾞﾙｰﾌﾟ：　ネットワーク上で、区分けをするための名称です。特に分ける必要がなければ、ネットワーク内のパソコンは、全て同一の名称にしてください。

ｺﾝﾋﾟｭｰﾀの説明：　「ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ名」の補足説明です。特に入力しなくても構いません。

メモ　［コンピュータ名］、［ワークグループ］には、半角英数字を入力することを推奨します。

⚠注意　一部の漢字やピリオド（.）などの特殊文字が含まれているとネットワークに接続できない場合があります。

■クライアント

サービスの提供を受ける側のことです。サーバにある情報やサービスを利用することができます。

■ファームウェア

ルータ／モデム／ TA などのハードウェアに組み込まれているソフトウェア（プログラム）のことです。
ハードウェアに組み込まれているソフトウェアなので、ハードウェアとソフトウェアの中間的なものといえます。

■プロトコル

ネットワーク端末間でデータの受け渡しを行うための手順や規則です。
例えば、2 つのコンピュータが通信を行う場合に、どちらが先にどのようなメッセージを送信するか、また、そのメッセージを受けてどのようなメッセージを返すか、データの形式はどうなっているか、通信エラーの対応など、通信を行う上で必要な条件をすべて手順化しておくことで、規則正しい情報の伝達を行うことができます。

■リソース (システムリソース)

パソコンの各周辺装置 (マウス、キーボードなど) や、LAN ボード、LAN カードなどに割り当てられている IRQ、I/O ポートアドレスを総称した名称です。

仕様

本製品の仕様について説明します。

準拠規格	RCR STD-33,ARIB STD-T66 （小電力データ通信システム規格）
	IEEE802.11b（無線 LAN 標準プロトコル）
伝送方式	DS-SS 方式（IEEE802.11 準拠） 半二重（Half Duplex）
通信距離	屋内 50m、屋外 115m（見通し） ※ 11Mbps 時は、屋内 25m、屋外 50m（見通し） （ただし、設置環境により異なります。）
対応パソコン	PC カードスロット (TYPE II) を装備した DOS/V 機または、NEC 製 PC98-NX シリーズおよび PC-9821 シリーズ (ただし、NEC 製 PC-9821Ne および EPSON 製 98 互換機には対応しておりません。)
送信周波数範囲（中心周波数）	2412 ～ 2484MHz（全 14 チャンネル）
データ転送速度	11M/5.5M/2M/1M（bps）
動作電源電圧	5V
消費電流	送信時 最大 285mA
	受信時 最大 185mA
動作環境	温度　0 ～ 55 ℃
	湿度　20 ～ 80%（但し、結露なきこと）
重量	55g
外形寸法	117.8(W)mm × 53.95(D)mm × 5.0(H)mm （突起部の高さ (8.7mm) を除く）

メモ 最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ (http://www.melcoinc.co.jp/) を参照してください。

■保証書について

本製品付属の保証書には保証期間と保証規定が記載されています。内容をお確かめになり、大切に保管してください。

■ユーザー登録について

ユーザー登録はがきに必要事項を記入して郵送して頂ければ、弊社製品のユーザーとしてご登録いたします。

※ 本製品に対するサポートやバージョンアップなどのサービスは、ユーザー登録されている方でなければ受けられません。

※ ユーザー登録後に製品を譲渡した場合でも、ユーザー登録は変更できません。

■修理について

故障と思われる症状が発生したときは、まずマニュアルを参照して設定や接続が正しいか確認してください。改善されない場合は、次の事項をお調べになった資料と保証書の原本を添付し、弊社修理センター宛に製品を直接お送りください。

※ ご依頼いただいた修理品以外に関するお問い合わせは、承っておりません。

※ 宅配便など、送付の控えが残る方法でお送りください。郵送は固くお断りいたします。

※ 送料は送り主様のご負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

※ 修理にお送りいただく際に、弊社への事前連絡は不要です。

※ ハードディスクをお送りいただいた場合、そのハードディスクはフォーマットいたします。必要なデータは事前にバックアップを作成しておいてください。

※ 修理期間は、製品の到着後7日程度(弊社営業日数)を予定しております。

製品送付先：〒456-0023　名古屋市熱田区六野二丁目1-3中京倉庫内33号6階
株式会社メルコ　修理センター宛
TEL:052-889-2104

チェック項目：
① 返送先 [氏名 / 住所 / 電話番号 (内線)/FAX 番号]
② 平日昼間の連絡先 [氏名 / 住所 / 電話番号 (内線)/FAX 番号]
③ 修理対象のメルコ製品名
④ 弊社製品ハードウェア シリアルナンバー
⑤ 弊社製品ソフトウェア シリアルナンバー
⑥ 具体的な症状 / エラーメッセージ
⑦ 発生状況 [始めから / ある日突然 / 環境を変えたら]
⑧ 発生頻度 [必ず / 頻繁 / 時々 / 時間が経つと、他]
⑨ コンピュータ [本体メーカ名 / 型番 / シリアルナンバー]
⑩ ハードディスク [メーカ名 / 型番 / シリアルナンバー]
⑪ プリンタ [メーカ名 / 型番 / シリアルナンバー]
⑫ その他周辺機器 [メーカ名 / 型番 / シリアルナンバー]
⑬ OS(オペレーティング・システム)[ソフト名 / メーカ名 / バージョン]
⑭ アプリケーション／バージョン [症状に依存性のある場合は詳細も]
⑮ 製品以外の添付品 [付属ソフトなど]

WLI-PCM-L11 ユーザーズマニュアル
2000年8月24日 第3版発行
発行 株式会社メルコ

弊社製品の情報は次の方法で入手できます

インターネット

http://www.melcoinc.co.jp/
（ミラーサーバ　http://www.melcoinc.com/）

@nifty

MELCO Station ＜GO SMELCO＞

製品サポート

インフォメーションセンター

〒457-8520　名古屋市南区柴田本通4-15　株式会社メルコ ハイテクセンター内
本製品のサポートは下記で承っております。
ネットワーク製品専用ダイヤル
＜東　京＞　03-5350-7870
＜名古屋＞　052-619-1825
月～金 9:30～12:00/13:00～17:00 ※祝日を除く
※ 事前にメモとペンを用意し、次の事項を確認しておいてください。
- ・コンピュータ名と使用OS
- ・本製品の製品名とシリアルナンバー
- ・設定内容（スイッチ設定など）
- ・現象（具体的なエラーメッセージなど）

メルコパソコン教室

「DOS/Vパソコン組み立て体験教室」などを主催する株式会社メルコテクノスクールでは、ネットワーク関連の各種研修も実施しております。出張社員研修なども実施しておりますので、お気軽にご相談ください。

- ・インターネット接続設定教室
- ・LANケーブリング実践体験教室
- ・光ファイバケーブリング実践体験教室
- ・小規模LAN構築実践体験教室
- ・LAN/WAN構築実践体験教室

このほかにも、随時新規カリキュラムを開講中です。お申し込み、お問い合わせは、以下へお願いします。

TEL: 052-251-7911　　FAX: 052-249-2460

パソコン教室に関する最新情報は、次の方法でも入手することができます。
・インターネット....... http://www.melcoinc.co.jp/
（ミラーサーバ http://www.melcoinc.com/）